

# 陸上競技実施要項

[大会コード 17502014]

1. 主催 北九州工業高等専門学校  
九州沖縄地区高等専門学校体育連盟
2. 共催 北九州市、北九州市教育委員会
3. 協賛 (公財) 北九州観光コンベンション協会
4. 期日 平成29年7月15日(土)・16日(日)
5. 会場 北九州市立本城陸上競技場 [競技場コード 401050]
6. 参加人員 監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、各種目別競技者
7. 種目 (男子) 20種目 (\*印: 対校得点対象外種目)  
100m、200m、400m、800m、1500m、5000m、110mH、400mH、3000mSC  
4×100mリレー、4×400mリレー、\*200m(オープン)、\*1500m(オープン)、  
走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳、砲丸投(6.0kg)、円盤投(1.75kg)、やり投  
(女子) 11種目 (\*印: 混成チームは対校得点対象としない)  
100m、200m、800m、3000m、100mH、\*4×100mリレー、走高跳、走幅跳、  
砲丸投(4.0kg)、円盤投(1.0kg)、やり投(0.600kg)
8. 競技規則 2017年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会実施要項による。
9. 競技方法
  - (1) 男女別学校対抗とする。
  - (2) 得点は1位8点、2位7点、3位6点、4位5点、5位4点、6位3点、7位2点、8位1点とする。
  - (3) 最多得点校を優勝校とする。ただし、同点の場合の順位決定は上位入賞種目の多い学校を上位とする。
10. 出場資格及び制限
  - (1) 競技者は、平成29年度日本陸上競技連盟並びに日本高専陸上競技協会登録者であること。
  - (2) 1人2種目以内とする。ただし、リレーと対校得点対象外種目については出場種目から除く。  
リレーの交代については、規則どおりすべての種目の出場者が対象となる。
  - (3) 1種目各校3名以内とする。ただし、対校得点対象外種目およびオープン種目については、出場人数の制限を設けない。専攻科生はオープン種目のみ出場を認める。
  - (4) 4×100mリレー及び4×400mリレーは、各校1チームとする。
  - (5) リレーの申込みは6名連記とする。
  - (6) 補欠競技者としての申込みは、全種目を通して3名以内とする。競技者の変更は補欠競技者として申し込んだ3名以内に限るものとし、その変更は監督会議において承認を得るものとする。

(7) 男子種目の参加標準記録は100m 12秒2、200m 25秒0、400m 56秒0、800m 2分12秒0、1500m 4分35秒0、5000m 18分00秒0、110mH 20秒0以内とし、走高跳 1m55、走幅跳 5m50、三段跳 11m50、砲丸投 9m00、円盤投 25m00、やり投 30m00以上とする。

#### 11. 参加申込書等について

- (1) 陸上競技参加申込書と陸上競技種目別一覧及び個人申込書、リレーメンバー申込書の提出期限は平成29年6月16日（金）とする。
- (2) オープン種目の申し込み方法について、ナンバーは正式種目にエントリーしている者はそのナンバーを記載し、オープンのみの方は、当校の空いているナンバーを記載する。  
ただし、○31～○33は補欠用、○51～は女子用のナンバーとする。
- (3) 大会参加に際して提供される個人情報、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。

## 競 技 注 意 事 項

1. 本大会は、2017年度日本陸上競技連盟競技規則によって行う。
2. 競技者の招集について
  - (1) 招集所は、100mスタート地点付近の倉庫前とする。
  - (2) 各種目の招集開始時刻及び完了時刻は次のとおりとする。

競 技 種 目	招集開始時刻	招集完了時刻
トラック競技	競技開始30分前	競技開始15分前
フィールド競技	競技開始60分前	競技開始40分前

- (3) 競技者は招集所において、ナンバーカード持参の上、競技者係のチェックを受けること。
  - (4) トラック競技は出発地点、フィールド競技は現地記録席付近にて最終点呼を取る。
  - (5) 代理人による招集は認めない。ただし、2種目を同時に兼ねて出場する競技者は、あらかじめその旨を最初の種目の招集時に競技者係に申し出ること。
  - (6) 棄権をする競技者は、本人または監督が棄権届用紙（招集所に準備）に記入し、招集開始時刻までに招集所に提出すること。
  - (7) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該種目を棄権したものとみなし処理する。
3. ナンバーカードについて
    - (1) ナンバーカードは各校で準備すること。
    - (2) ナンバーカードは胸・背につけ、トラック競技出場者は招集所で借りたレーンナンバーカードを右腰やや後方に付ける。ただし、リレーに出場する競技者は第4走者のみでよい。
    - (3) ナンバーカードは次のとおりとする。  
101～久留米    201～有 明    301～北九州    401～佐世保  
501～熊本高専（熊本）    601～熊本高専（八代）    701～大 分  
801～都 城    901～鹿児島    1001～沖縄
  4. リレー競技について  
オーダー用紙は当該種目競技開始時刻60分前までに招集所競技者係に提出する。
  5. 走路順・競技順序について  
トラック競技の予選における走路順及びフィールド競技の試技順は、プログラムに記載の番号の左に1. 2. 3. . . . の数字で示す。
  6. 競技の抽選及び番組編成について
    - (1) トラック種目における決勝へのプラス進出者については、該当競技の最下位に同記録が複数出た場合、写真判定主任が、同記録者の写真を拡大して、タイムだけでなく、より細かく優劣を判定して進出者を決める。それでも決まらない場合は着順を優先して抽選する。但し、1500mでの同記録者は、全員次のラウンドへ進むことができる。
    - (2) 写真判定装置不動作の場合は、その種目の当該ラウンド全組を手動計時にかえ着順優先で判定する。

## 7. 走高跳及び棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 男子走高跳における練習の高さは1m50及び1m70、試技開始は1m55、それ以降1m60、1m65、1m70、1m75、1m80、1m85とし、以後は3cm単位とする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは2cmとする。
- (2) 女子走高跳における練習の高さは1m15及び1m35、試技開始は1m20、それ以降1m25、1m30、1m35、1m40、1m45、1m50とし、以後は3cm単位とする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは2cm単位とする。
- (3) 男子棒高跳における練習の高さは自己申告とし、試技開始は3m00とし、以後は10cm単位とする。第1位が同記録の場合、順位決定のためバーの上げ下げは、5cmとする。
- (4) 上記のバーの上げ方は、天候やその他の条件により変更することがある(審判長が決定する)。

## 8. 用器具について

- (1) この大会で使用する用器具類は、競技場にあるものを使用する。
- (2) 男子円盤、男子やりについては、個人持参のものを主催者で検査のうえ使用を認める。ただし共通利用とする。

## 9. 表彰について

表彰は、当該種目終了後直ちに行う。3位までに入賞した者は、本部の表彰者控室で待機し、係員の誘導に従うこと。

## 10. 全国大会への出場権について

- (1) この大会における男子は3位、女子は2位までの入賞者は、全国高等専門学校体育大会への出場権を得ることになる(ただし下記(2)の種目は除く)。  
男子は1人2種目以内(リレー種目は除く)。  
男子リレー種目は2位までの入賞チーム、有効期間内における公認記録の全国上位7チームとする。  
女子は下記(2)の種目を含め3種目以内とする。リレーは混成チームを認める場合がある。  
混成チームは対校得点対象としない。
- (2) 下記の種目は、標準記録を設け以下のような選出方法を行う。  
男子400mH:59秒00、3000mSC:10分30秒00、棒高跳:3m50(この3種目も対校得点とする)  
女子200m:29秒00、3000m:12分00秒00、100mH:19秒00、4×100mR:56秒00、走高跳:1m35、  
円盤投:23m00、やり投:25m00(この7種目も対校得点とする)  
男子400mHと棒高跳は有効期間内の公認記録上位24名以内、3000mSCは同20名以内とする。  
女子200m、3000m、100mH、走高跳、円盤投及びやり投は有効期間内の公認記録上位16名以内とする。但し3000mで16名に満たない場合は駅伝の区間記録を含むロード種目を参考にする。
- (3) 公認記録の有効期間について、男子リレー種目はその年度の4月1日以降最終の地区大会終了日までとし、これ以外の種目については前年の1月1日からその年度最終の地区大会終了日までとする。
- (4) トラック種目における全国大会出場枠の最下位に同着が複数出た場合、再レースを実施する。

## 11. その他

- (1) 投てきの練習は、すべて競技場内で行うこと。競技場内では係員の指示に従い行うこと。特に危険防止につとめること。

- (2) 全天候舗装路のためスパイクのピンは、9mm以下のものを使用すること。また、走高跳及び槍投の場合は、12mm以下のものを使用すること。
- (3) 5000mは、天候によって給水を行うことがある。
- (4) 男子4×100mリレー及び男子4×400mリレーが決勝1本となった場合は、トラック競技開始時間を1日目20分、2日目15分早めることとする。